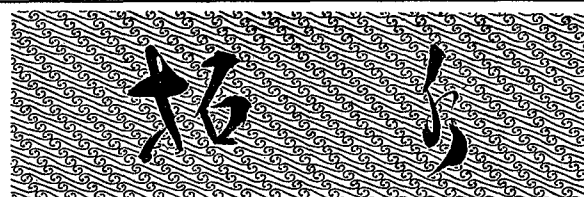


(会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区中之島 2番2号1
TEL 681-6954~7
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりとは万人のために、万人はひとりのために



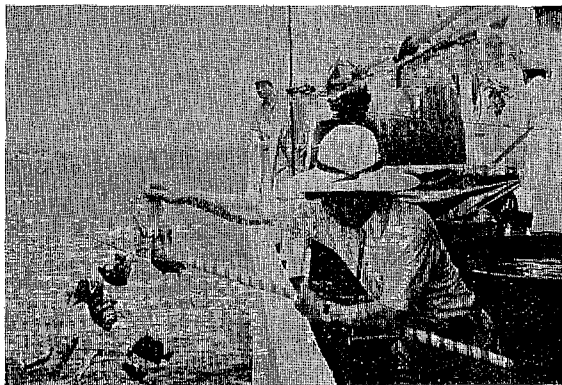
第12回 豊漁祈願祭

マダイ・ハマチ・ヒシメなどを放流

去る七月三十日、漁業操業の安全と、永遠の豊漁を祈念し、第十二回豊漁祈願祭(主催 兵庫県漁連)が美万里町浜坂町浜坂漁港において行なわれました。

この日は、晴天に恵まれ、浜坂漁港周辺に掲げられた数百枚の大漁旗の棚引く中、地元選出国会議員谷洋一先生をはじめとする多数の来賓を迎え、県下各地から漁業関係者二〇〇余名が参列する中、地元宇都野神社司宮により、陸上神事がおこなわれ、祈願行なわれま

去る七月四日、東京新橋演舞場に於いて共水連、漁連、全漁連主催で昭和六十一年度漁協共済推進全国大会が開かれ、本県より二十四名が参加した。大会では主催者、来賓あいさつ、その後、昭和六十年度、優績漁協、契約者の表彰が行われ各賞の代表者にそれぞれ表彰状が手渡された。本県では別記のとおり表彰され、特に共水連の部で柴山港漁協、漁業共済個人の部で香住町漁協の畑中昌之氏がそれぞれ舞台に登り水産庁長官賞を受賞した。



その後、参加者の総意として「漁協の共済の確立・推進に関する決議」を万場一致で採決した。

- 表彰者名簿
- 共水連関係
 - 水産庁長官賞 柴山港漁協
 - 全漁連会長賞 津居山港漁協
 - 水産庁長官賞 香住町漁協
 - 共水連会長賞 香住町、坊勢、竹野、浜、神戸市、室津、相生、阿那賀、岩見各漁協
- 漁業共済関係
 - 水産庁長官賞(個人) 畑中昌之(香住町)
 - 全漁連会長賞(団体) 永昌(阿那賀)
 - 香住町漁協 阿那賀、生穂、江井、島沼島、各漁協



水産庁長官賞を受賞する畑中氏(香住町)

◎漁協共済の真の確立をめざして

〈漁協共済の推進・確立に関する決議〉
昨今のきびしい環境条件のもとにあって、漁業協同組合に対する期待はますます大きい。この状況下において組合員の暮らしをまもり、経営を支える「漁協共済」は、われわれにとっていまや不可欠の事業のひとつとなっている。

まず組合員の暮らしをまもる「漁協共済」については、元受け新体制のもとで、組合自身の事業として取り組む体制づくりが、ひきつづき当面する大きな課題である。とくに本年度は共済事業発足35周年にあたり、これを機に漁家の生活設計と結合するいっそう強力な普及活動を展開し、事業の飛躍的拡大をはからなければならない。

また経営をまもる「ぎょさい」については、わが国200カイル水域内の漁業振興に、より力強く取り組むべきいま、経営のうしろだてとしての「ぎょさい」の役割はますます重要である。このため加入のいっそうの普遍化を実現して、名実ともに経営対策の柱となるよう、その推進に全力を傾注しなければならない。

いっぽう「漁業者年金」は、5年にわたる系統続く運動によって、11万人を超える大きな成果を得たが、漁業者の老後の福祉対策の一環として、制度の充実・強化をはかるためにも、ひきつづき普及の拡大をめざす特別運動を必要としている。

漁協系統運動の新たな展開にあたって、いっそう強力な協同の歩みが求められるいま、運動の柱のひとつとして、われわれはこれらの課題と真剣に取り組み、漁業者に真に役立つ「漁協共済」の確立をめざして力強く前進することを誓い合い、ここに大会の総意として決議する。

昭和61年7月4日

漁業者年金10万人突破記念 昭和61年度漁協共済推進全国大会

柴山港漁協水産庁長官賞受賞

漁協共済推進全国大会開く

去る七月四日、東京新橋演舞場に於いて共水連、漁連、全漁連主催で昭和六十一年度漁協共済推進全国大会が開かれ、本県より二十四名が参加した。大会では主催者、来賓あいさつ、その後、昭和六十年度、優績漁協、契約者の表彰が行われ各賞の代表者にそれぞれ表彰状が手渡された。本県では別記のとおり表彰され、特に共水連の部で柴山港漁協、漁業共済個人の部で香住町漁協の畑中昌之氏がそれぞれ舞台に登り水産庁長官賞を受賞した。

- 個人
 - 大西 輝明(香住町)
 - 岡島百合枝(〃)
 - 小柴 政夫(〃)
 - 小林 信行(〃)
 - 濱本 稔(〃)
 - 森 勝雄(〃)
 - 仲田 勝介(竹野浜)
 - 石塚保雄(津居山港)
 - 乙野 武光(浜坂町)
 - 門脇 昇(〃)
 - 川越 栄一(〃)
 - 森 謙信(〃)
- 団体
 - 畑中昌之(香住町)
 - 永昌(阿那賀)
 - 全漁連会長賞(団体) 永昌(阿那賀)
 - 香住町漁協 阿那賀、生穂、江井、島沼島、各漁協

- ### 「豊漁祈願祭の歩み」
- | | | | | |
|------|------|----|----|---|
| 第1回 | 神戸市 | 垂水 | 水戸 | 港 |
| 第2回 | 淡路 | 岩見 | 路 | 港 |
| 第3回 | 御津 | 岩見 | 香住 | 港 |
| 第4回 | 明石 | 香住 | 市 | 港 |
| 第5回 | 明石 | 石井 | 市 | 港 |
| 第6回 | 神戶 | 垂水 | 市 | 港 |
| 第7回 | 南 | 淡路 | 香 | 港 |
| 第8回 | (全大) | 家 | 島 | 港 |
| 第9回 | 家 | 島 | 市 | 港 |
| 第10回 | 神 | 南 | 淡 | 港 |
| 第11回 | 南 | 淡 | 路 | 港 |
| 第12回 | 淡 | 路 | 香 | 港 |



第11回兵庫県 漁民物故者合同供養祭

六、八四九柱の尊霊を祭祀

兵庫県漁民物故者合同供養祭が本年も七月二十一日雨にけむる聖地高野山において、漁業関係者約三〇〇名の参加の中で厳粛に執り行なわれました。

開会にあたり主催者を代表し、西上重武執行委員長は、本県水産業の発展は、物故された数多くの先輩漁業者と婦人部の血と汗の賜物であり、その遺業を偲ばれるとともに残されたものの使命として遺業をひきつづき水産業を発展させることを誓い、追悼の式辞とされた。ひきつづき遺族代

表の手により本年度物故者二〇九柱の方々の名簿を奉安し、読経の流れる中、焼香を行なった。読経が始まると、まるで空が泣き出した様にひととき激しい雨が降り出し、皆の涙を

追悼のことばとして 兵庫県を代表し、深井農林水産部長、全漁連を代表し山下常務から物故者の方々に對する冥福と水産業発展への決意が述べられた。

普及たより おさかなは好き?

△1▽肉、野菜、魚の
中が一番好きなもの
は何ですか。
一位 肉 六四％
二位 野菜 一九％
三位 魚 一七％
△2▽魚を使った料理
は好きですか。
好き 一〇〇％

△3▽食事のとき魚を
使った材料がよく出
てきますか。
あまり上手に食べら
れない 一七％
△4▽骨付きの魚を上
手に食べられますか
△5▽どんな料理方法
が好きですか。
一位 焼き魚
二位 さしみ
三位 魚のフライ
△6▽よく食べるお魚
は何ですか。
一位 さば
二位 さんま
三位 あゆ
四位 いわし
五位 さけ

△7▽小学校五年生
四〇名を対象に行った
アンケート結果です。
この結果から、子供
は魚が決して嫌いでは
ないが、魚より肉や野
菜の方が好きなよう
です。



このことは、食卓に
魚料理があまり並ばな
いことも原因の一つで
はないでしょうか。
また、好きな料理方
法をみると、さしみ、
魚フライ等、骨を気に



しないで食べられる料
理が好まれているよう
です。

坊勢漁協婦人部では
魚の消費促進を目的に
七月二十一日から二十
二日にかけて、灘神戸
生協組合員の母子組五
〇名を家島町に招き、
交流会を開催しまし
た。

最近の子供は、「ス
ーパーに売っている切
り身の魚しか知らない
い」ということを聞き
て、交流会を企画しま
した。

刺身班では、三枚お
ろしの方法を、煮付け
班では、カサゴ、イシモ
チ等小魚の煮付け方を
天ぷら班では、ハゼの
耐つけ、グチのすり身
の天ぷらを、その他班
では、シャコのゆで
方、アナゴのつけ焼き
を実習しました。

交流会の主な内容
△1▽坊勢島において
冷凍冷蔵施設、ちりめ
入加工施設、つば網の
漁具の主な内容

見学を行った。
△2▽その後、船で約
五分のところに西
島(母と子の島)のキ
ャンプ場に移り、ます
漁協組合員の指導によ
る地曳網漁を体験実習
し、とれた魚の名前当
てコンテストを行いま
した。

△3▽それから、漁協
婦人部の指導による魚
の料理実習を、全員が
それぞれ班(刺身
班、煮付け班、天ぷら
その他班)に分かれて
行いました。

刺身班では、三枚お
ろしの方法を、煮付け
班では、カサゴ、イシモ
チ等小魚の煮付け方を
天ぷら班では、ハゼの
耐つけ、グチのすり身
の天ぷらを、その他班
では、シャコのゆで
方、アナゴのつけ焼き
を実習しました。

海に囲まれた島しの
キャンプ、自分達でと
った新鮮な魚の料理、
魚があまり好きでない
子供も、自分で作った
魚料理に大喜びで、魚
のおいしさを見直した
ようです。
これからは、きつと
「お魚、大好き」に
なることでしょう。

皆様もぜひ作って下
さい。
姫路農業改良普及所
藤井 久美

兵庫県の3カ月予報

大阪管区気象台発表

盛夏期は、不安定な天候があらわれやすいでしょう。9月は、秋雨が降りやすい見込みです。

この期間、近畿地方に影響する台風は1個位でしょう。
8月前半は、暑い晴天の日が多いでしょう。後半は、にわか雨や雷雨の日が多くなる見込みです。

9月前半は、曇りや雨の日が多い見込みです。その後、天気は周期的に変わってでしょう。

10月天気は周期的に変わりますが、温暖な見込みです。

(気温および降水量の予想)

	8月	9月	10月
気温	平年並	平年並	やや高い
降水量	やや多い	やや多い	平年並

どう変わる年金制度

農林年金法の一部改正法案(9)

今回は、前号に引き
続き遺族共済年金につ
いて、そのあらましを
お知らせします。

一、遺族共済年金の支
給停止
(1) 夫、父母又は祖父
母に支給する遺族共済
年金は、六十歳まで支
給停止となつていま
す。

ただし、障害等級が
一級又は二級の障害の
状態にあるときは、支
給停止は行われな
ことになっています。

(2) 夫、父母又は祖父
母に支給する遺族共済
年金は、六十歳まで支
給停止となつていま
す。

ただし、障害等級が
一級又は二級の障害の
状態にあるときは、支
給停止は行われな
ことになっています。

(3) 妻に対する遺族共
済年金は、子が受給権
を有する間、支給停止
となつています。た
だ、子が次のいずれか
に該当したときは、受
給権が復活すること
になっています。

前号で述べたように
今回の改正で遺族共
済年金の受給順位は、
配偶者(死亡の日)に
応じて次の表の下欄
の順序から支給する
ことになっています。

(1) 死亡したとき
(2) 婚姻をしたとき
(3) 直系血族及び直系
姻族以外の者の養子
になったとき
(4) 死亡した者との親
族関係が離縁によ
って終了したとき
(5) 子又は孫が一八歳
に達したとき(一級

昭和六十一年七月一日から昭和六十四年六月三十日までの間に遺族共済年金を受ける権利を取得した者	昭和六十四年七月一日から昭和六十七年六月三十日までの間に遺族共済年金を受ける権利を取得した者	昭和六十七年七月一日から昭和七十年六月三十日までの間に遺族共済年金を受ける権利を取得した者
五十六歳	五十七歳	五十八歳
五十九歳		

赤潮テレホン情報

きめ細かな漁海況情報をお知らせします。

TEL 078-671-5151

※海況の異常にお気付きになりましたら県水産課あるいは県漁連までご連絡下さい。

及び二級の障害の状
態にある者を除く)
(6) 一級又は二級の障
害状態にある一八歳
以上の子又は孫の障
害の状態がなくなっ
たとき

海区漁業調整委員 委員会会たより

七月二十二日

但馬海区漁業調整委員
 会委員協議会を但馬水
 産事務所会議室で開催
 一、兵庫県漁業調整規
 則一部改正について
 二、日本海漁業調整委
 員会連絡協議会提出
 議題について
 日朝民間漁業暫定合
 意書の有効期限が、昭
 和六十一年十二月末日
 で満了するの、「日
 朝民間漁業暫定合意書
 の継続的延長について」
 を提案することに
 決めました。
 七月二十三日
 瀬戸内海海区漁業調
 整委員会委員協議会を
 県中央労働センターで
 開催

一、さわら漁業につい
 て
 前回の委員協議会で
 が地区毎に、関係委員
 による意向を、とり
 まとめることになって
 いたので、夫々、報告
 された。その概要は、
 (1) 新式のさわら網に
 ついては着業希望者が
 多く、諸般の事情から
 許可は難しい。
 (2) 一年許可を受けて
 いる、はなづき網につ
 いても違反等が目立つ
 ので、更新にあたって
 は、慎重に対処するに
 決めた。
 (3) 適時強力な取締り
 を実施する。の三点が
 主な意見でした。
 今後の扱いとしては
 この意向をもとに慎重
 に審議されることにな
 りました。
 二、タンク漁船の取扱
 いについて
 底びき見直しに関連
 してモデル漁船が操業
 時の安全面に重点をお
 いて開発されたので、
 その建造工程、海上試
 験時のスライド、ビデ
 オを使用して県水産課
 より詳細な報告があり
 り、曳網時の復原力計
 算、建造許可方針案に
 ついても説明がありました。

三、船びき網漁業の各
 地域の自主規制につ
 いて
 現在、関係漁協にお
 いて実施されている規
 制内容が県水産課より
 説明され、年内を目途
 に今後の正常化の大綱
 が審議されることにな
 りました。
 四、兵庫県漁業調整規
 則の一部改正につい
 て(事前協議)
 県漁業調整規則の一
 部改正案について県水
 産課より説明があり協
 議の結果、継続審議さ
 れることになりました。

1、海況
 (明石海峡周辺) 旬平
 均水温は上旬20・5℃
 中旬21・5℃を示して
 おり、平年に較べて1
 ～1・5℃低目に推移
 している。(大阪湾・
 紀伊水道) 7月17日
 の調査結果によると、大
 阪湾の表層水温は21・
 8～22・3℃の範囲に
 あり、平年に較べて約
 1℃低目である。表
 層水温は21・9～25・
 1℃を示し、大阪湾に
 較べて1～2℃高い。
 2、漁況
 (小型底曳網) 明石海
 峡周辺を主漁場とする
 小型底曳網ではメイト
 ガレイ、マコガレイ、
 アナゴ、マコガレイ、
 エビなどが主に漁獲さ
 れている。メイトガレ
 イは昨年同様の約2分
 の1であるが、サルー
 ビは昨年より多い。
 (前年比2・0) 前月
 は昨年同様に較べて少
 なく、概ね昨年の約1/2

1℃を示し、大阪湾に
 較べて1～2℃高い。
 2、漁況
 (小型底曳網) 明石海
 峡周辺を主漁場とする
 小型底曳網ではメイト
 ガレイ、マコガレイ、
 アナゴ、マコガレイ、
 エビなどが主に漁獲さ
 れている。メイトガレ
 イは昨年同様の約2分
 の1であるが、サルー
 ビは昨年より多い。
 (前年比2・0) 前月
 は昨年同様に較べて少
 なく、概ね昨年の約1/2

ったが7月10日頃から
 小ダコが出現しだし
 た。紀伊水道北部およ
 び鳴門海峡周辺の小型
 底曳網では主にエビ類
 を漁獲している。この
 うちサルービ(カワ
 ズ)は昨年同様に較べ
 たり多く、前年比2・
 0～5・0を示してい
 る。(船曳網) シラス漁は
 好漁が続いており、時
 間制限を実施してい
 る。しかし水揚が多い
 ため全般に魚価は安

の漁である。マサバお
 よびマルアジの魚体
 は、それぞれ300～
 400gと150～2
 00gで、共に小型で
 ある。

ため全般に魚価は安
 いため全般に魚価は安
 いため全般に魚価は安

漁連に転出()
 2、サラリーマン役員
 の悲哀
 ① しか自分は無用の
 混入は避けべきであ
 ると考えて黙してい
 た。総会の翌日から三
 日間が経過したから選
 が確定するわけである
 が、期間後選辞退者
 が理事の前記三名は予
 期していたが意外にも
 監事の二名からも出さ
 れた。自分は旅行先の
 組合長に電報でこの旨
 通知、組合長から「帰
 所後善処する」との返
 電があった。

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

組合長に對する一種の
 レジスタンスのように
 思われるし自分はその
 巻き添えを喰ったとし
 か考えられない。とい
 うのはAは年齢、漁業
 のキャリアから申して
 組合長に選ばれるのは
 当然だと自信に溢れ
 ていた。にもかかわらず
 予和と三一年初代引退
 による選挙で、戦後帰
 郷したわか漁師のD
 が当選、二期目の今回
 又当選した。当然辞退
 してしかるべきであ
 るのにそれをしないこ
 とは無神経だといふ憤
 がありDの下に理事に
 列することはいささ
 やとしないといふ心境
 ようだ。B、Cは長い
 間Aと特に親交があ
 り、既に理事会などで常
 にAと同調、ともすれば
 反組合長論の意見を吐
 いていた。そこでこの
 三人が連袂下野すれば
 Dも投げ出さざるを得
 ないであろうとの期待
 から辞退したと思
 う。

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

「たしかに意欲を失っ
 たことは事実である。
 しかしたくせつな事
 は、とにかく執行体制
 を確立することであ
 る。だから自分は辞退
 しないで今日こうして
 役員会に列している。
 しかし将来はどうする
 か言明の限りでない」
 と心境を述べた。その
 ことがCに伝えられた
 が「専務もあの結果で
 はそうした事を申して
 も無理はない。あれで
 を前提して」どうもD

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

組合長帰来後全員に
 対し初役員会の招集通
 知が発せられたが出席
 者五名の参加がなかつ
 たのは当然である。初
 役員会では先ず辞退者
 の意向を行うことにな
 り五名のところに複数
 の役員が赴いて脱陣し
 たが監事の二人はA B
 とは異なる心境で辞退
 をしたのであるが考え
 てみると願望を大きく
 すべきでないと思ひ至
 ったので断念するこ

